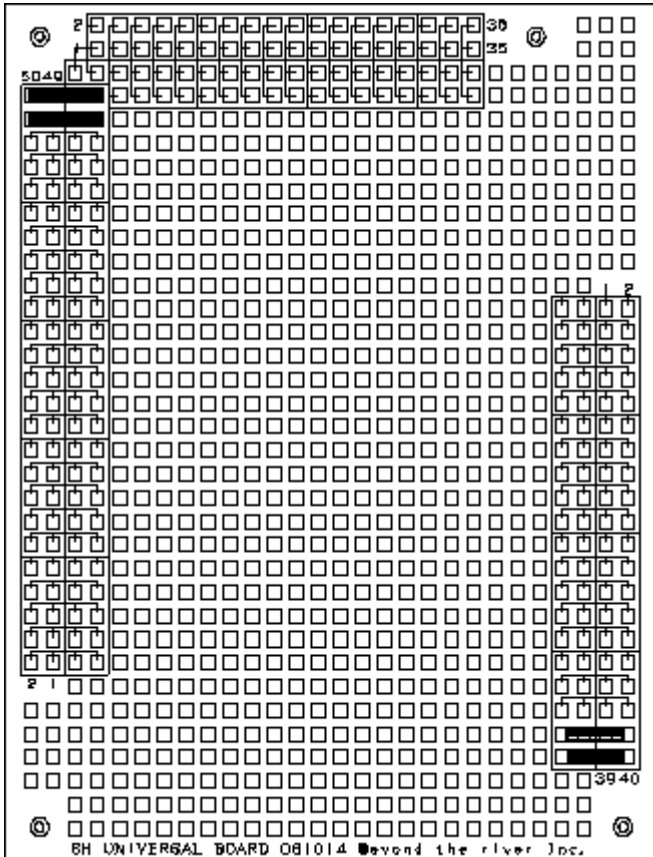
ＳＨ７２０６ ＣＰＵボード用　ユニバーサルボード
取扱説明書　　　　　　　　　　**初版　２００６．１１.０３**

ＢＵＫ７２０６　　　　　　　　　　**有限会社 ビーリバーエレクトロニクス**

●概要

　本製品はＢＣＳＨ７２０６　ＣＰＵボードの上にＰＣ１０４用コネクタで重ねて使用するユニバーサルボードです。複数枚の重ねが可能で、重ねてもＣＰＵの信号線はそのままユニバーサルの上にでています。ＣＰＵと同じサイズでコンパクト、ローコストですので試作から量産品までそのまま使用することができます。

●特徴

ａ）２．５４mmピッチ両面スルーホール、穴径１mmのランドによりＴＴＬ　ＩＣ（ＤＩＰ　１４ピン）で１６個、２０ピンで１０個程度実装できます。各種２．５４mmピッチコネクタも実装できます。
ｂ）添付のＰＣ１０４コネクタ　３６ピン、４０ピン、５０ピンによりＣＰＵボードの上に複数枚重ねて使用できます。重ねてもどのボードにもＣＰＵボードからの信号線がでます。
ｃ）ＰＣ１０４用コネクタは後付けなので作業が容易です。

●製品構成

ユニバーサル基板	１枚
３６ピン　ピンヘッダ	１個
４０ピン　ピンヘッダ	１個
５０ピン　ピンヘッダ	１個
３６ピン　ＰＣ１０４コネクタ	１個
４０ピン　ＰＣ１０４コネクタ	１個
５０ピン　ＰＣ１０４コネクタ	１個
本取扱説明書	１部

●外形寸法、電源

９２×７５mm（ＣＰＵボードと同じサイズ）
電源はＣＰＵボードと重ねることによりＣＰＵ側から供給されます。

●コネクタ

　ＣＰＵボードのコネクタＣＮ１，ＣＮ３，ＣＮ４の信号がＰＣ１０４用コネクタによりそのままユニバーサルボードの上に出ます。ＣＮ１，ＣＮ３，４の信号名につきましてはＣＰＵボード添付の取扱説明書を参照下さい。

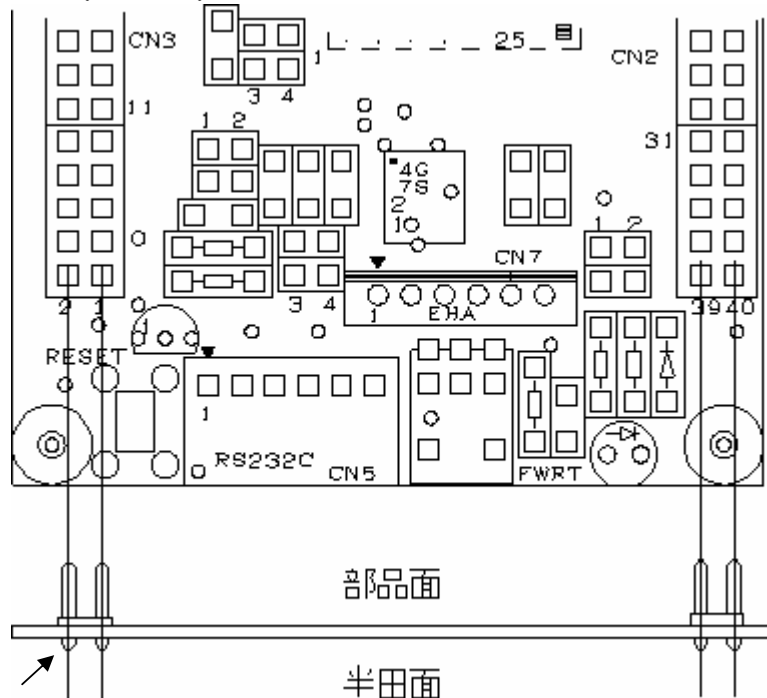
●使用方法

ａ）使用前準備

　始めにＣＰＵボードに添付の３６ピン、４０ピン、５０ピンのピンヘッダを半田付けします。注意点は

　　　　１）ピンヘッダは長い方を部品面にする。

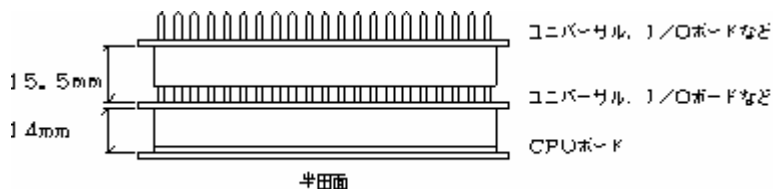
　　　　２）ピンヘッダは基板に対して垂直に半田面側から半田付けする。

です。（下図参照）

ピンの短い方を半田面にし、半田付けする。

　半田付けのこつは、まずピンヘッダの両端のピンを仮半田付けし、ＣＰＵ基板に対して浮いている部分が無いか、垂直になっているか確認し、ＯＫであれば残りのピン全てを半田付けします。もしくは、ユニバーサルボードを部品面より重ねてしまってから半田付けします。

　垂直でなく半田付けされたピンヘッダではユニバーサルボードを部品面より重ねることができません。また、その修正は大変な労力を要しますので注意して作業して下さい。

ｂ）次にお客さまの回路図に従いユニバーサルボード内側の端子に配線を行い、最後に添付のＰＣ１０４用コネクタを外側に半田付けしてＣＰＵ上に重ねて下さい。ＰＣ１０４用コネクタは部品面よりユニバーサルボードに垂直になるよう半田付けします。ですので、部品がＰＣ１０４用コネクタに近すぎたり、背が高すぎると半田付けできない場合がありますので注意して下さい。

　他の拡張ボードと重ねて使用できます。ＣＰＵボードのピンヘッダとユニバーサルボードのコネクタ間に隙間が無いように挿入します。４隅をネジ止めする場合、１４mmのスペーサーを使用します。ユニバーサルボードの上にまたユニバーサル、Ｉ／Ｏボードなどを重ねる場合、隙間が開くのが正常です。スペーサーは１５．５mmのものを使用します。

●使用上のご注意

　環境の悪いところ（ﾉｲｽﾞ、油、ほこり、塵、高温）での使用はお止め下さい。

●お問い合わせ

ＢＵＫ７２０６についてのお問い合わせは以下にお願い致します。

お問い合わせ内容	会社名	電話番号	ＦＡＸ番号
開発、販売、カスタム対応	有限会社ビーリバーエレクトロニクス	０４２−９８５−６９８２	０４２−９８５−６７２０
販売代理店、部品	サンデン商事株式会社（担当：譜久山　ふくやま）	０３−５８１８−７７５１	０３−５８１８−６６３０

各会社のホームページ、住所、他

会社名	ホームページ（メールアドレス）	住所	他
有限会社ビーリバーエレクトロニクス	http://beriver.co.jp/	〒３５０−１２１３ 埼玉県日高市高萩１１４１-１	ソフト、ハードウエア設計、製造元
サンデン商事株式会社	http://www.sandenshoji.co.jp	〒１０１−００２１ 東京都千代田区外神田６−１２−３　ビックウエストビル３号館４Ｆ	秋葉原地区代理店、各種部品、ハーネスアッシーなど販売